




<p>【教材・教具名】 ビデオ絵本</p>	<p>【教科・領域】 国語</p>
	<p>【教材の使用材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオにしたい本</li> <li>・タブレット端末、テレビ</li> <li>・挿絵の写真データ</li> <li>・朗読した声のデータ</li> </ul>
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の描いた絵や声をビデオの材料として活用する。</li> </ul>	
<p>○使用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ビデオ絵本にしたい本を選ぶ。</li> <li>②せりふを抜き出しボイスメモ機能を使って録音する。<b>録音データ</b></li> <li>③挿絵の写真をとる。<b>写真データ</b></li> <li>④録音データと写真データを使って、タブレット端末のアプリ（iMovie）で編集する。</li> <li>⑤完成したビデオ絵本をテレビで見る。</li> </ol> <p>※②③について、教師が作成したビデオで学習後、録音データを生徒の声とし、写真データを生徒の描いた絵として、iMovieで編集、ビデオを完成させた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="948 904 1326 1171">  </div> <div data-bbox="948 1189 1326 1456">  </div> </div> <p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静止画像だけでは物足りないと思ったので、ある場面だけ、生徒を主人公にして演技させ、動画データとして取り込んで活用した。動画の場面が表れると、生徒たちの集中力も高まり身を乗り出して見入っていた。</li> </ul>	
<p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオを流しながら授業ができるため、指導者が前に出る必要がなく、生徒にかかわることができた。</li> <li>・音読や絵を描くことが好きな生徒たちにとって、成果を発表するよい機会となり、達成感が得られた。</li> </ul>	